

②分科会分担分【決算認定】

予算決算委員会 総務分科会座長報告

令和7年 9 月 26 日 予算決算委員会後期全体会

○議案第 106 号 のうち、総務分科会の分担となりました部分 と 議案第 112 号及び議案第 114 号の審査の経過

○議案第 106 号

「令和6年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、当
分科会分担分

○2款 総務費 1項 総務管理費 1目 総務管理費 庁舎管理事務(事務事業No.3)

【質疑】工事請負費及び修繕費が令和4年度比で3倍になっているとの
ことだが、今後の見通しをどう考えているか。

【答弁】庁舎建設から 10 年が経過する中で修繕箇所が増えてきており、
中長期的な長寿命化対策を見据えた修繕計画の策定が必要と
考えている。

○3目 財産管理費

財産管理契約事業(事務事業No.7)

【質疑】電子入札・入札参加資格審査システム利用負担金について、令
和6年度決算額の 252 万 4,445 円から、令和 7 年度予算で
は96万4千円に大幅に減額になっているが、令和6年度は導入
のための負担が多かったという理解でいいか。

【答弁】令和6年度から県のシステムを導入したが、システム導入にあた

り審査業務の費用がかかったことにより、通常と比較して多額の費用が必要となった。今後も、審査業務の更新に併せて3年サイクルで負担額が増えることになる。

【質疑】事務事業実績評価表の決算の財源 地方債の緊急防災・減災事業債 170 万円は何に充てられているか。

【答弁】東野自治会館の施設老朽化に伴う解体工事にかかる実施設計の経費として、設計業務等委託料に充当している。

○5 目 自治振興費

総合的な空き家対策事業(事務事業No.11)

【質疑】空き家活用等事業補助金について、予算 770 万円のところ、決算は 58 万 6 千円と大きな乖離があり、活動指標をみても空き家バンクの登録件数、成約件数ともに、年々減少している。補助金を有効に活用することで、使える空き家を維持し、活用につなげていくことになると思うが、決算を受けて、事業の今後の方向性をどう考えているか。

【答弁】空き家の補助金に関して、予算に対して活用されている額が非常に少ない状況であり、改めて空き家がなくなるためには、どのような補助メニューが効果的なのか検証していきたい。また、空き家バンク登録の相談があっても登録まで結びつかない物件もあるため、民間の事業者との連携を含めて取り組んでいきたい。

○7 目 共生・協働推進事業費

市民協働推進事業(事務事業No.22)

【質疑】ムトス飯田助成事業では、応援助成の交付件数は減少する一方で、協働助成の交付件数は増加している。例えば、若者の申請

の割合が増えたなどの傾向はあるか。

【答弁】以前は現役世代を退職し、地区の役員も終わって、というような方の申込の割合が多かったが、最近は 20 歳代から 50 歳代の申込が増えるとともに、起業に関する助成の申請・相談が増えてきている。

○10 目 人事管理費

健康管理事業(事務事業No.37)

【質疑】令和6年度のストレスチェック受検者数は 2,029 人となっているが、職員数は事業No.35 人事管理事務の活動指標から、正規職員 1,628 人、会計年度任用職員 1,251 人であることから、職員合計 2,879 人中 2,029 人が受検しているという理解でいいか。また、理解があっているとすれば、受検割合がかなり少ない状況となっているが、受検者数が低くなっている具体的な原因を把握できているか。

【答弁】委員発言の通りの実態であり、受検割合は高くない状況にある。原因としては、本庁勤務の職員に比べ、病院勤務の職員の受検率が低い状況であるため、引き続き受検率が上がるように努めていく。

○11 目 交通安全費

交通安全事業(事務事業No.39)

【質疑】令和6年度の自転車用ヘルメット補助申請件数について、810 回の計画のところ、実績は 119 回と、予定よりもかなり少ない状況だが原因を把握できているか。また、令和7年度 of 取組予定はどうなっているか。

【答弁】目標値は、事前に行ったアンケート結果から得たヘルメット保有

率から算定したが、予想に反して申請件数は少なかった。原因が何かまでは分析できていないが、ヘルメット着用率が概ね 10～15%向上していることから、一定の成果はあったと考えている。今年度については特段事業としての実施は予定していないが、引き続きヘルメット着用率が上がるように情報発信に努めていく。

○13目 情報管理費

情報システム事業(事務事業No.41)

【質疑】令和6年11月から「いいだWebマップ」の運用が開始されたが、まだまだ情報発信が少ない状況だが、今後の運用をどう考えているか。

【答弁】地図データの公開については、できる限り公開するように庁内の関係部署と協議を行っているが、公開するためにはデータの正確性が求められ、データの精査も必要であるため、公開に慎重な面がある。地図データ公開の重要性については庁内で認識を共有できているため、できる限り情報を公開できるよう進めていきたい。

○19目 消費生活センター事業費

消費生活センター事業(事務事業No.48)

【質疑】消費者教育事業参加者の実績について、令和4年度1,557人、令和5年度2,800人、令和6年度1,700人と大きく増減している要因は何か。

【答弁】令和5年度は、学校単位での参加があり一時的に増加した。令和6年度は、学校単位での参加が少なく、平準的な参加者数に戻ったため、年度によって増減が生じている。

【質疑】令和7年4月から消費生活相談業務が広域的に対応することになったが、教育事業についてはどうか。

【答弁】広域化は消費生活相談業務に限っており、小中学校での啓発活動について広域化していない。町村からの要望等があれば、資料提供など連携して対応していく。

○4款 衛生費 1項 保健衛生費 5目 環境保全費
地域エネルギー普及事業(事務事業No.141)

【質疑】上村 小沢(こざわ)川小水力発電事業について、令和6年度の取組として、工事費圧縮など、関係者と協議・検討を行なったとあるが、どのような協議が行われたのか。

【答弁】資材費等の高騰によって事業費が高騰しているため、設計等の見直しによる事業費の圧縮ができないか協議するとともに、事業を実施するために、事業主体を再構築することを含めて検討している。

○環境汚染対策事業(事務事業No.142)

【質疑】振り返り課題の認識として、河川、地下水及び湧き水の水質並びに幹線道路の自動車騒音、工業地域等の臭気など測定結果は基準内の値だったとある一方で、活動指標の中で、騒音の環境基準達成率と、悪臭の防止目標の達成率が、ここ数年 100%になっていない原因は何か。

【答弁】活動指標については、計画値に対しておおむね達成しているが、基準値に達していないものが騒音、悪臭ともに1か所あるため、100%になっていない。今後も関係機関と連携しながら、達成するように取組んでいく。

○9款 消防費

災害対策事業(事務事業No.235)

【質疑】令和6年度 災害対策一般経費に緊急防災・減災事業債 390万円が充てられているが、具体的に何に充てられているか。

【答弁】地方債は、市立病院の屋上に設置してある防災カメラの修繕及び機能性向上のための費用として、充当している。

○議案第 112 号

「令和6年度飯田市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について」
及び

議案第 114 号

「令和6年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について」

特に申し上げることなし。